

第15回定時株主総会招集ご通知に際しての インターネット開示事項

連結注記表 個別注記表

(2019年9月1日から2020年8月31日まで)

株式会社デザインワン・ジャパン

「連結計算書類の連結注記表」及び「計算書類の個別注記表」につきましては、法令及び当社定款に基づき、インターネット上の当社ウェブサイト (<https://www.designone.jp/>) に掲載することにより、株主の皆さまに提供しております。

連結注記表

連結計算書類作成のための基本となる重要な事項に関する注記

1 連結の範囲に関する事項

(1) 連結子会社の状況

連結子会社の数 2社

連結子会社の名称

株式会社昼job

Nitro Tech Asia Inc Co.Ltd.

当連結会計年度より、株式会社昼jobの株式を取得したことにより連結の範囲に含めております。

(2) 非連結子会社の状況

該当事項はありません。

2 持分法の適用に関する事項

該当事項はありません。

3 連結子会社の事業年度等に関する事項

株式会社昼jobの決算日は7月31日であり、Nitro Tech Asia Inc Co.Ltd.の決算日は12月31日であります。連結計算書類の作成に当たっては、連結決算日現在で本決算に準じた仮決算を行った計算書類を基礎としております。

4 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券

・満期保有目的の債券 償却原価法（定額法）によっております。

・その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）によっております。

時価のないもの

移動平均法による原価法によっております。

なお、投資事業有限責任組合への出資（金融商品取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの）については、組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっております。

② たな卸資産

- ・ 仕掛品 個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)を採用しております。
- ・ 貯蔵品 個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)を採用しております。

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備は、定額法を採用しております。なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

- ・ 建物 2～18年
- ・ 工具、器具及び備品 4～8年

② 無形固定資産

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法に基づいております。

(3) 重要な引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 役員賞与引当金

役員に対する賞与支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

③ 賞与引当金

従業員に対する賞与支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

④ ポイント引当金

ユーザーに付与されたポイントの使用による費用発生に備えるため、当連結会計年度末において将来利用されると見込まれる額を計上しております。

(4) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。なお、在外連結子会社の資産、負債は、在外連結子会社の仮決算日の直物為替相場により円貨に換算しております。

(5) のれんの償却方法及び償却期間

5年間の定額法により償却を行っております。

(6) その他連結計算書類作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

連結貸借対照表に関する注記

コミットメントライン契約

当社グループは、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行との間で当座貸越契約及びコミットメントライン契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は、次のとおりです。

当座貸越限度及びコミットメントライン契約の総額	850,000千円
借入実行残高	－千円
差引額	850,000千円

連結株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当連結会計年度末の発行済株式の種類及び総数
普通株式 15,116,300株
2. 当連結会計年度末における自己株式の種類及び株式数
普通株式 160,658株
3. 当連結会計年度末における新株予約権（権利行使期間の初日が到来していないものを除く）の目的となる株式の種類及び数
普通株式 138,800株

金融商品に関する注記

1 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社グループは、資金調達については、自己資金からの充当及び銀行等金融機関からの借入れによる方針であります。一時的な余資の運用につきましては、安全性の高い金融資産に限定して運用を行う方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である受取手形及び売掛金、敷金及び保証金は、顧客の信用リスクに晒されております。当該リスクにつきましては、当社の規程に従い、事業部門と経理財務部が連携して、取引先ごとに適切な期日管理及び残高管理を行うとともに、財務状況の悪化等による回収懸念の早期把握や軽減を図っております。

有価証券は合同運用の金銭信託及び信託受益権であり、預金と同様の性格を有するものであります。

投資有価証券につきましては、定期的に発行体の財務状況等を把握し、リスクが懸念されるものについては、保有状況を継続的に見直しております。

営業債務である未払金、未払費用及び未払法人税等は、そのすべてが1年以内の支払期日であります。また、未払金及び未払費用は流動性リスクに晒されておりますが、当該リスクにつきましては、各部署からの報告に基づき経理財務部が月次単位での支払予定を把握する等の方法により、当該リスクを管理しております。長期借入金は、主に運転資金に係る資金調達を目的としたものであります。

2 金融商品の時価等に関する事項

連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	連結貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	2,018,223	2,018,223	—
(2) 売掛金	106,294		
貸倒引当金(※)	△8,584		
	97,710	97,710	—
(3) 有価証券及び投資有価証券			
①満期保有目的の債券	300,277	300,120	△157
②その他有価証券	433,201	433,201	—
(4) 敷金及び保証金	118,415	115,464	△2,950
資産計	2,967,827	2,964,719	△3,107
(1) 未払金	130,089	130,089	—
(2) 未払費用	51,580	51,580	—
(3) 未払法人税等	39,262	39,262	—
(4) 長期借入金	6,670	6,110	△559
負債計	227,603	227,044	△559

(※) 売掛金については対応する貸倒引当金を控除しております。

(注1) 金融商品の時価の算定方法

資 産

(1) 現金及び預金、(2) 売掛金

これらはすべて短期で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(3) 有価証券及び投資有価証券

有価証券及び投資有価証券については、取引金融機関等から提示された価格によっております。

(4) 敷金及び保証金

敷金及び保証金の時価の算定は、合理的に見積った敷金の返還予定時期に基づき、安全性の高い債券の利率で割り引いた現在価値により算定しております。

負 債

(1) 未払金、(2) 未払費用、並びに(3) 未払法人税等

これらはすべて短期で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(4) 長期借入金

これらの時価については、元利金の合計額を新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。なお、長期借入金には1年内返済予定の長期借入金が含まれております。

(注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる主な金融商品

(単位：千円)

区分	2020年8月31日
非上場株式	0

非上場株式については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため含めておりません。

(注3) 金銭債権の決算日後の償還予定額

	1年以内 (千円)	1年超 5年以内 (千円)	5年超 10年以内 (千円)	10年超 (千円)
現金及び預金	2,018,223	—	—	—
売掛金	106,294	—	—	—
有価証券及び投資有価証券				
満期保有目的の債券	100,277	—	200,000	—
その他有価証券のうち満期があるもの				
その他	400,000	33,201	—	—
敷金及び保証金	—	2,263	116,151	—
合計	2,624,795	35,465	316,151	—

(注4) 借入金の連結決算日後の返済予定額

	1年以内 (千円)	1年超 2年以内 (千円)	2年超 3年以内 (千円)	3年超 4年以内 (千円)	4年超 5年以内 (千円)	5年超 (千円)
長期借入金	1,380	1,380	1,380	1,380	1,150	—
合計	1,380	1,380	1,380	1,380	1,150	—

1 株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	207円56銭
1株当たり当期純利益金額	10円11銭

重要な後発事象に関する注記

(投資有価証券の売却)

当社は、2020年9月10日付の取締役会書面決議において、保有する投資有価証券(非上場株式)の全部を売却することを決議し、2020年10月1日に売却いたしました。これにより、2021年8月期第1四半期連結会計期間において投資有価証券売却益92,114千円を特別利益として計上する見込みであります。

その他の注記

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響について)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、経済や企業活動に広範な影響を与える事象ではありますが、当社グループにおいて、当連結会計年度の業績に一定程度影響はあったものの、重要な影響は発生しておりません。

当連結会計年度の連結計算書類の作成にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響が、翌連結会計年度の一定期間に及び、2022年8月期以降業績が回復し、2024年8月期中を目途に新型コロナウイルス感染症拡大前の状況に戻ると仮定して、固定資産の評価及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

新型コロナウイルス感染症の収束時期及び経営環境への影響が変化した場合には、上記の見積りの結果に影響し、翌連結会計年度以降の財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(取得による企業結合)

当社は、2020年5月26日開催の取締役会において、株式会社昼jobの株式を取得する事を決議し、2020年5月28日付で同社株式を取得し、連結子会社化いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社昼job
事業の内容	有料職業紹介事業、メディア運営事業

(2) 企業結合を行った主な理由

当社は、国内最大級のオールジャンル口コミ店舗検索サイト「エキテン」の運営を中心に、国内20万以上の中小事業者へ集客支援等のサービスを提供しております。

今回株式を取得して子会社化した昼job社は、「人生を変える『チャンス』と『キッカケ』を」を企業理念として、ナイトワーク出身の求職者に特化した人材紹介サービスを展開しております。社会人未経験のナイトワーク出身者に対して基礎的な社会人研修等を行い、また求人企業に対しては一般的な人材紹介サービスよりも安価な手数料水準でナイトワーク出身者を紹介するなど、求職者のキャリアシフト支援と求人企業の課題解決を両立する独自のビジネスモデルを有しております。

同社の株式取得により、低価格帯で提供できる独自性の高い人材紹介サービスを確保でき、「エキテン」のメインジャンルであるリラクゼーション分野を始めとする店舗向け、および中小事業者向け事業領域の一層の拡大が可能となります。また、同社の事業は、現下の経済環境の急変に伴うナイトワーク出身者のキャリアシフト需要急増に整合する事業であり、当社グループの成長性確保、企業価値向上に資するものと考えております。

(3) 企業結合日

2020年5月28日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

(5) 結合後企業の名称

変更ありません。

(6) 取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したためであります。

2. 連結計算書類に含まれている被取得企業の業績の期間

2020年6月1日から2020年8月31日まで

3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

守秘義務契約により非開示とさせていただきます。

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

(1) 発生したのれん

89,566千円

(2) 発生原因

今後の事業展開によって期待される将来の超過収益力から発生したものであります。

(3) 償却方法及び償却期間

5年間にわたる均等償却

5. 企業結合日に受け入れする資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

流動資産 23,184千円

固定資産 4,127千円

資産合計 27,312千円

流動負債 11,006千円

固定負債 5,871千円

負債合計 16,878千円

個別注記表

重要な会計方針

1 重要な資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券

・満期保有目的の債券 償却原価法（定額法）によっております。

・その他有価証券

時価のあるもの

決算日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）によっております。

時価のないもの

移動平均法による原価法によっております。

なお、投資事業有限責任組合への出資（金融商品取引法第2条第2項により有価証券とみなされるもの）については、組合契約に規定される決算報告日に応じて入手可能な最近の決算書を基礎とし、持分相当額を純額で取り込む方法によっております。

(2) 貯蔵品

個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しております。

2 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産

定率法を採用しております。ただし、2016年4月1日以降に取得した建物附属設備は、定額法を採用しております。なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

・建物 8～18年

・工具、器具及び備品 4～8年

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法に基づいております。

3 重要な引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等の特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) ポイント引当金

ユーザーに付与されたポイントの使用による費用発生に備えるため、当事業年度末において将来利用されると見込まれる額を計上しております。

4 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算基準

外貨建金銭債権債務は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

5 その他計算書類作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

貸借対照表に関する注記

1 関係会社に対する金銭債権・債務

短期金銭債務 8,753千円

2 コミットメントライン契約

当社は、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行3行との間で当座貸越契約及びコミットメントライン契約を締結しております。この契約に基づく借入未実行残高は、次のとおりです。

当座貸越限度及びコミットメントライン契約の総額	850,000千円
借入実行残高	— 千円
差引額	850,000千円

損益計算書に関する注記

関係会社との取引高

営業取引による取引高

営業収益	3千円
営業費用	41,163千円

株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当事業年度末の発行済株式の種類及び総数

普通株式 15,116,300株

2. 当事業年度末における自己株式の種類及び株式数

普通株式 160,658株

3. 当事業年度末における新株予約権（権利行使期間の初日が到来していないものを除く）の目的となる株式の種類及び数

普通株式 138,800株

税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産

貸倒引当金	3,104千円
ポイント引当金	299千円
未払費用	13,766千円
投資有価証券評価損	32,277千円
資産除去債務	9,590千円
一括償却資産	411千円
減価償却超過額	37,665千円
未払事業税	3,350千円
未払事業所税	840千円
その他	8,370千円
繰延税金資産小計	109,676千円
評価性引当額	△35,759千円
繰延税金資産合計	73,917千円

繰延税金負債

資産除去債務に対応する除去費用	6,779千円
その他有価証券評価差額金	222千円
繰延税金負債合計	7,002千円
繰延税金資産の純額	66,915千円

関連当事者との取引に関する注記

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

1 株当たり情報に関する注記

1株当たり純資産額	210円07銭
1株当たり当期純利益金額	10円23銭

重要な後発事象に関する注記

(投資有価証券の売却)

当社は、2020年9月10日付の取締役会書面決議において、保有する投資有価証券(非上場株式)の全部を売却することを決議し、2020年10月1日に売却いたしました。これにより、2021年8月期第1四半期会計期間において投資有価証券売却益92,114千円を特別利益として計上する見込みであります。

その他の注記

(追加情報)

(会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の影響について)

連結注記表に同一の内容を記載しているため、注記を省略しております。

(取得による企業結合)

連結注記表に同一の内容を記載しているため、注記を省略しております。